

図書館だより

☆ ストリーム ☆



まもなく夏休みがやってきます。今年は冷夏で雨がが多く、読書をするにはもってこいの毎日でした。みなさんは4月から本を何冊読みましたか。取手二高の図書館で本を借りて読んでみましょう。今年度は昼休みや、放課後の利用者がたいへん多くなっています。

本校の第1回 図書委員会が開催されました。

委員長 3年3組 遠藤陽さん
副委員長 3年2組 栗山裕美さん 2年3組 中沢 栞さん 1年3組 立山蒔苑さん



新入生の図書オリエンテーションが行われました。

今年度から電子黒板が導入され、大画面モニターを利用してオリエンテーションが行われました。

昼休みや放課後は電子黒板から流れるBGMや映像により、リラックス出来る空間となっています。



映画鑑賞会延期

電子黒板を利用して企画係を中心に行う予定でしたが、コロナの影響で、延期になりました。

第65回 青少年読書感想コンクール《 課題図書を紹介 》

廉太郎ノオト



谷津矢車 著
中央公論新社

フラミンゴボーイ



マイケル・モーパーゴ 作
杉田七重 訳
小学館

キャバとゲルダ：ふたりの戦場
カメラマン



マーク・アロンソン 著
マリナ・ブドーズ 著
原田勝 訳
あすなろ書房

夏休み中の図書館利用について

- ★開館日…別添の予定表で確認してください。
開館・閉館時間 午前9時～午後3時
- ★夏休みに入るにあたり本の長期貸出を行います。
 - *返却日 …8月24日(月)
 - *貸出冊数 …10冊まで

読書で世界を広げよう

校長 廣瀬 久美子

皆さんは最近、本を読みましたか？

「高校生の 55.3%が 1 ヶ月に 1 冊も本を読まなかった」（2019 年全国学校図書館協議会「学校読書調査」より）ことが明らかになり、高校生の読書離れが話題になりました。同じ調査によると 1 ヶ月に全く本を読まない小学生は 6.8%。つまり小学生の約 94%が毎月なんらかの本を読んでいるのに、高校生になると 2 人に 1 人が本を読まなくなってしまうのですね。皆さんは現在、読む方？読まない方？どちらに属しているのでしょうか？



本を読まなくなった理由のベスト 3 は「勉強や部活、受験の準備等で時間がなかったから」「他にしたいことがあったから」「普段から本を読まないから」だそうです。もったいないですね。若いうちの脳はインプットすればした分だけ蓄積されるのに。知識を得るだけならネットでもスピーディにできますが、手軽に得た知識の多くは自分が時間をかけ努力して得た内容ではないので、長く定着しないことの方が多いです。その点、読書は違います。自分が読みたいと思って手にした本、時間をかけて読んだ本はきっと「実になる知識」をもたらしてくれます。読書と縁遠くなっている 55.3%の高校生に伝えたい。「脳が活性化されている高校生だからこそ、読んだ分だけ成長できる。そんなチャンスを逃さないで欲しい」と。

本は 1 年間に約 75,000 冊 (!) も発売されているそうです。これだけの数ですから、読む気にさえなれば自分の興味関心にぴったりの本や、気づきをもたらえる本がきっとあるはず。 (図書館を利用すればお金を使わずに新しい本を手にできますよね。) 多くの本に触れることは自らの語彙力や表現力を増やしてくれるし、学習や受験にもきっと役立ちます。また、豊かな心を養うことや、自分の知らなかった世界を知るためにも有効です。

1 日 10 分でも、1 ヶ月 (30 日) にすると 10 分×30 日=300 分、つまり 5 時間になります。どうでしょう。昼休みや登下校の電車の中など、スマホにさわる時間を本に持ち替えてみませんか？何気なく開いた本が、自分の生き方について進むべき道を示してくれるかもしれません。迷いや悩みがあるときに答えのヒントを教えてくれるかもしれません。

皆さんの未来のために。本が好きな人も読書から遠ざかっている人も、少しの時間を重ねながら、できるだけ多くの本と出会い自分の世界を広げてほしい、そう願っています。



コロナ対策 清掃の徹底

